【企業動向調査（製造業）概況】

2026年1月～3月期の企業動向調査（市内製造業95社）を行った結果、業況判断指数ＤＩは11.7ポイントとなりました。

前期調査結果（2025年１０月～１２月：22.0ポイント）と比較して10.3ポイント悪化しました。

その他経営上の問題については、「原材料や仕入品単価の上昇」「人材不足」「受注の減少」などの意見がありました。

１　業種別の業況判断前期比ＤＩ

業種	前期比ＤＩ	前期との差
食品	16.6	16.6
金属	0.0	▲ 6.7
一般機械	36.4	5.6
電気機械	9.1	▲ 13.1
木材家具	0.0	▲ 20.0
その他業種	9.1	▲ 36.3

２　業種別の次期予想ＤＩ（2026年４月～６月）

次期予想は▲ 8.6 ポイントで、今期調査結果(11.7)より、20.3 ポイント悪化する予想となりました。

業種	次期予想ＤＩ	今期との差
食品	16.6	0.0
金属	0.0	0.0
一般機械	▲ 10.0	▲ 46.4
電気機械	0.0	▲ 9.1
木材家具	▲ 60.0	▲ 60.0
その他業種	▲ 20.0	▲ 29.1

３　経営上の主な問題点

	問題点	割合
１位	原材料･仕入品単価の上昇	80.0%
２位	人材不足(技術者等質的なもの)	53.3%
３位	受注の減少	35.0%
４位	労働力不足(量的なもの)	30.0%
５位	技術力の不足	21.7%

企　業　動　向　調　査

【 2026 年 1 月～３月期 <1 期> 】

【調 査 概 要】

須坂市産業振興部産業政策課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年４回市内企業を対象にアンケート調査を実施している。

今回は 2026 年 1 月～３月期＜１期＞の業況について調査した。

【調査実施要領】

実 施 時 期　2026 年４月

対 象 企 業　須坂市内に本社または事業所を有する製造業企業 95 社

回答企業数　60 社　（回答率 63.2%）

【調 査 結 果】

自社業況判断　（ＤＩ＝好転－悪化）

	好転	悪化	ＤＩ	比較
前期比	31.7% （前期 37.3%）	20.0% （前期 15.3%）	11.7	前期より 10.3 ポイント悪化
前年同期比	36.7% （前期 36.2%）	26.7% （前期 19.0%）	10.0	前期より 7.2 ポイント悪化
次期予想	20.7%	29.3%	▲ 8.6	今期より 20.3 ポイント悪化と予想

受 注 引 合　（ＤＩ＝増加－減少）

	増加	減少	ＤＩ	比較
前期比	33.3% （前期 37.3%）	25.0% （前期 18.6%）	8.3	前期より 10.4 ポイント減少
前年同期比	36.7% （前期 36.2%）	31.7% （前期 17.2%）	5.0	前期より 14.0 ポイント減少
次期予想	15.0%	35.0%	▲ 20.0	今期より 28.3 ポイント減少と予想

生　産　量　（ＤＩ＝増加－減少）

	増加	減少	ＤＩ	比較
前期比	31.7% （前期 32.2%）	23.3% （前期 15.3%）	8.4	前期より 8.5 ポイント減少
前年同期比	30.0% （前期 31.0%）	31.7% （前期 17.2%）	▲ 1.7	前期より 15.5 ポイント減少
次期予想	18.3%	31.7%	▲ 13.4	今期より 21.8 ポイント減少と予想

原材料・仕入品単価　（ＤＩ＝低下－上昇）

	低下	上昇	ＤＩ	比較
前期比	1.7% （前期 0.0%）	78.3% （前期 52.5%）	▲ 76.6	前期より 24.1 ポイント悪化
前年同期比	1.7% （前期 3.4%）	86.7% （前期 60.3%）	▲ 85.0	前期より 28.1 ポイント悪化
次期予想	0.0%	90.0%	▲ 90.0	今期より 13.4 ポイント悪化と予想

製品販売価格　（ＤＩ＝上昇－低下）

	上昇	低下	ＤＩ	比較
前期比	23.3% （前期 25.4%）	1.7% （前期 1.7%）	21.6	前期より 2.1 ポイント低下
前年同期比	41.7% （前期 41.4%）	5.0% （前期 1.7%）	36.7	前期より 3.0 ポイント低下
次期予想	36.7%	6.7%	30.0	今期より 8.4 ポイント上昇と予想

資 金 繰 り　（ＤＩ＝好転－悪化）

	好転	悪化	ＤＩ	比較
前期比	10.0% （前期 6.8%）	15.0% （前期 15.3%）	▲ 5.0	前期より 3.5 ポイント好転
前年同期比	6.7% （前期 10.3%）	23.3% （前期 19.0%）	▲ 16.6	前期より 7.9 ポイント悪化
次期予想	3.3%	21.7%	▲ 18.4	今期より 13.4 ポイント悪化と予想

所定外労働時間　（ＤＩ＝増加－減少）

	増加	減少	ＤＩ	比較
前期比	18.3% （前期 16.9%）	16.7% （前期 8.5%）	1.6	前期より 6.8 ポイント減少
前年同期比	16.7% （前期 19.0%）	21.7% （前期 12.1%）	▲ 5.0	前期より 11.9 ポイント減少
次期予想	13.3%	25.0%	▲ 11.7	今期より 13.3 ポイント減少と予想

収　益　率　（ＤＩ＝上昇－低下）

	上昇	低下	ＤＩ	比較
前期比	20.0% （前期 15.3%）	21.7% （前期 22.0%）	▲ 1.7	前期より 5.0 ポイント上昇

前年同期比	18.3% （前期 10.3%）	28.3% （前期 27.6%）	▲ 10.0	前期より 7.3 ポイント上昇
次期予想	10.0%	40.0%	▲ 30.0	今期より 28.3 ポイント低下と予想

経営上の問題点（複数回答）

	問題点	割合	前回比較
1 位	原材料･仕入品単価の上昇	80.0%	→
2 位	人材不足(技術者等質的なもの)	53.3%	↓
3 位	受注の減少	35.0%	→
4 位	労働力不足(量的なもの)	30.0%	→
5 位	技術力の不足	21.7%	→
6 位	納期の短縮	11.7%	→
7 位	同業他社との競争激化	8.3%	→
7 位	為替相場の変動	8.3%	↑
9 位	金融難	6.7%	↓
10 位	製品販売価格の低下	5.0%	↓
11 位	取引先の海外シフト化	1.7%	↑
12 位	人員過剰	0.0%	↓

※ 「↑」前回の順位から上昇　　「→」前回の順位から変動なし
「↓」前回の順位から下降

業種別自社業況判断／食　品

	好転	悪化	ＤＩ	比較
前期比	33.3% （前期 16.7%）	16.7% （前期 16.7%）	16.6	前期より 16.6 ポイント好転
前年同期比	33.3% （前期 16.7%）	16.7% （前期 16.7%）	16.6	前期より 16.6 ポイント好転
次期予想	33.3%	16.7%	16.6	今期より 0.0 ポイント好転と予想

業種別自社業況判断／金属機械

	好転	悪化	ＤＩ	比較
前期比	31.3% （前期 26.7%）	31.3% （前期 20.0%）	0.0	前期より 6.7 ポイント悪化
前年同期比	37.5% （前期 40.0%）	43.8% （前期 20.0%）	▲ 6.3	前期より 26.3 ポイント悪化
次期予想	18.8%	18.8%	0.0	今期より 0.0 ポイント好転と予想

業種別自社業況判断／一般機械

	好転	悪化	ＤＩ	比較
前期比	45.5% （前期 38.5%）	9.1% （前期 7.7%）	36.4	前期より 5.6 ポイント好転
前年同期比	63.6% （前期 23.1%）	9.1% （前期 30.8%）	54.5	前期より 62.2 ポイント好転
次期予想	20.0%	30.0%	▲ 10.0	今期より 46.4 ポイント悪化と予想

業種別自社業況判断／電気機械

	好転	悪化	ＤＩ	比較
前期比	27.3% （前期 44.4%）	18.2% （前期 22.2%）	9.1	前期より 13.1 ポイント悪化
前年同期比	36.4% （前期 23.1%）	18.2% （前期 30.8%）	18.2	前期より 19.3 ポイント悪化
次期予想	27.3%	27.3%	0.0	今期より 9.1 ポイント悪化と予想

業種別自社業況判断／木材家具

	好転	悪化	ＤＩ	比較
前期比	20.0% （前期 40.0%）	20.0% （前期 20.0%）	0.0	前期より 20.0 ポイント悪化
前年同期比	0.0% （前期 20.0%）	40.0% （前期 20.0%）	▲ 40.0	前期より 40.0 ポイント悪化
次期予想	0.0%	60.0%	▲ 60.0	今期より 60.0 ポイント悪化と予想

Q10　日銀松本支店が４月１日に発表した、企業短期経済観測調査(短観)によると、全産業の業況判断指数(DI)は、前回調査(12 月)と比較して、５ポイントプラスとなりました。製造業は、プラス１ポイントと４ポイント好転、非製造業は、プラス 20 ポイントと４ポイント好転しました。自社の景況感をどのように感じておられますか。

好転している	21.7%
今はないが、今後好転が見込まれる	8.3%
変わらない	30.0%
今はないが、今後悪化が見込まれる	26.7%
悪化している	13.3%

Q11　3月以降、中東情勢緊迫化により原油価格の高騰が続いており、原材料など価格高騰も継続していますが、貴社の事業にどの程度影響が出ていますでしょうか。

大きな影響が出ている	33.3%
影響が出ているが大きくはない	41.7%
影響は出ていない	3.3%
今後、影響が見込まれる	21.7%

Q12　影響が出ているのはどの分野ですか。（複数回答可）

燃料費（ガソリン、軽油等）	30.0%
輸送費（運送費等）	10.0%
光熱費（電気代等）	6.7%
原材料費	68.3%
梱包資材費	35.0%
その他	21.7%

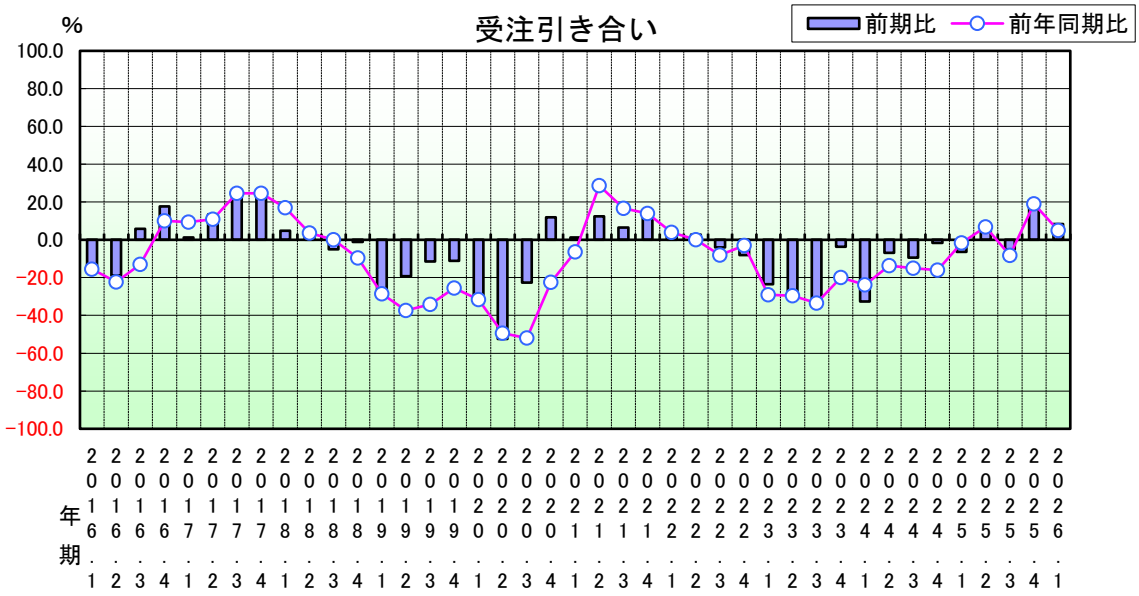
Q13　12で「⑥その他」とお答えになられた方。どのような分野で影響が出ているかご記入ください。

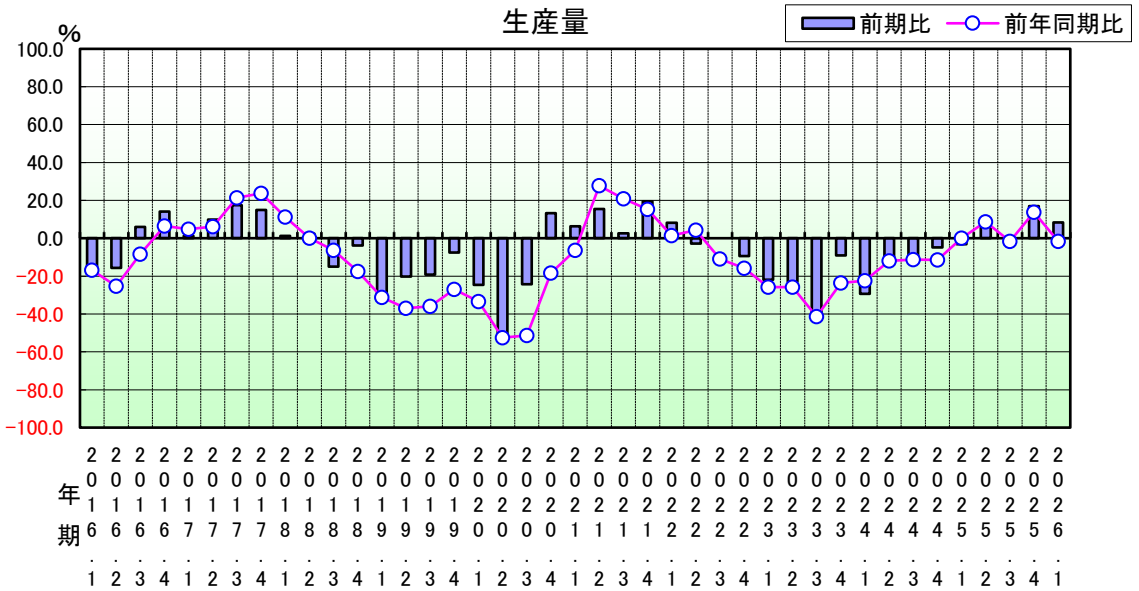
- 原料が調達できない
- 特殊な刃物、ナイロン系
- 加工油などの油脂類が値上げをして入手困難になっています。
- ゴム、プラスチック、塗料、シンナーなど
- ナフサを原料としている部材、溶剤関係全般
- 塗装関係による「塗料」や「シンナー」不足により、生産や受注に遅延出そうであり、停止もありうる
- 原材料費の高騰もあるが品物（資材・購入品）が入って来ない

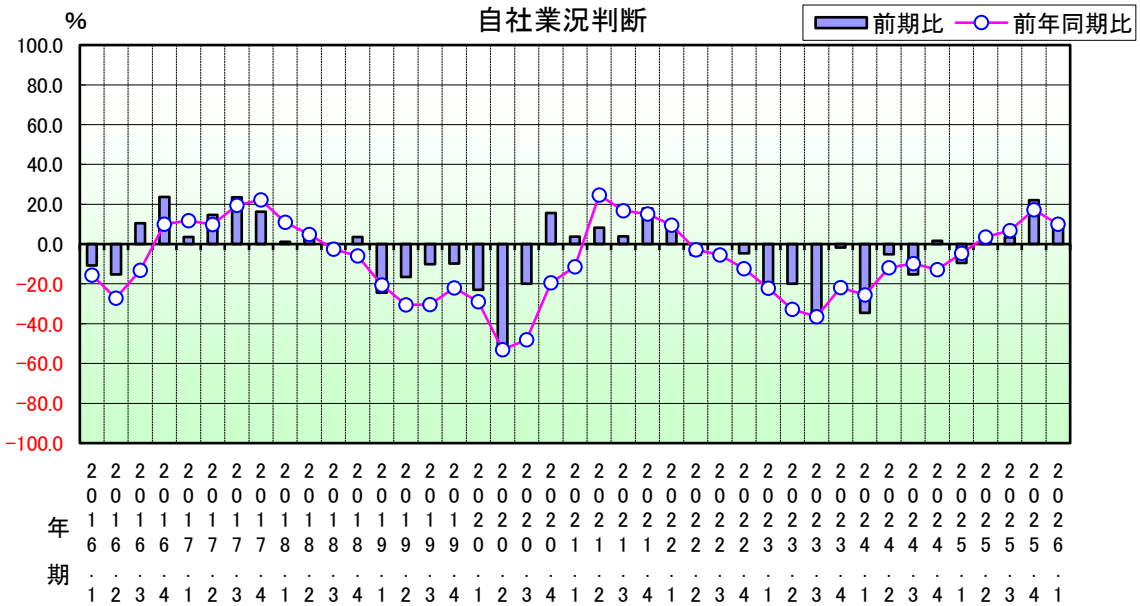
Q14　その他経営上の問題についてご記入ください。

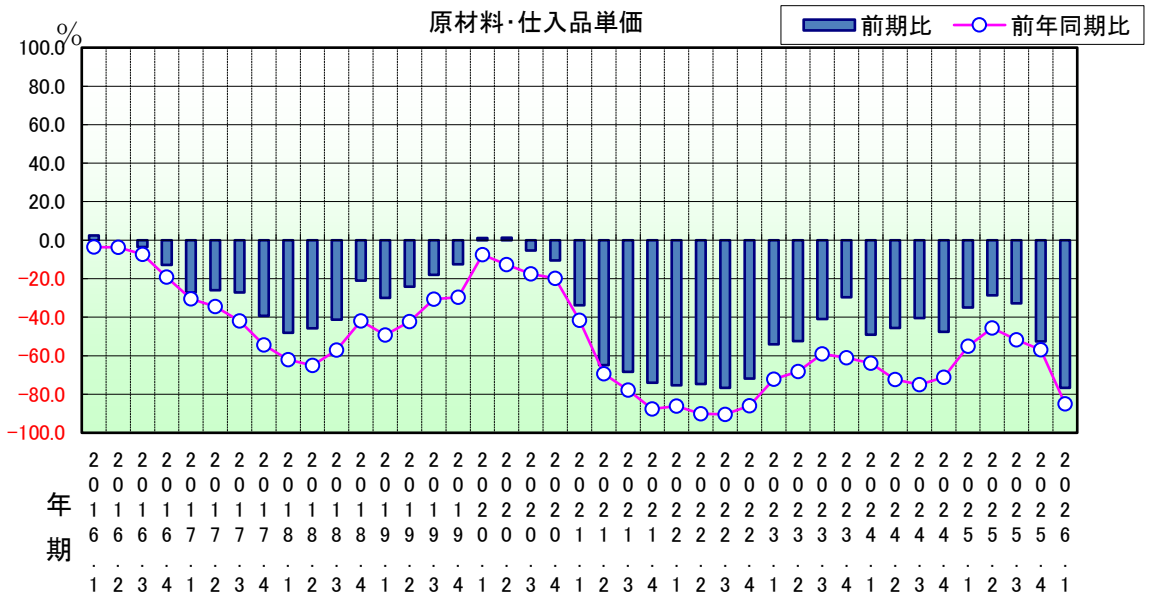
- 生産設備や資材の長納期化
- 人材難である。
- 経済がどんどんと小さくなる日本。国政・地方政共に大改造を望む。
  税政は特に！！
- 昨年から引き続き設備の改修修繕費に資金がかかっています。
- 中東問題による資材や原材料の高騰に売り単価への反映が追い付いていません。
- 人件費の増加にもかかわらず、物価上昇の影響で社員の不満は依然として
  解消されない。さらに、円安の進行見通しも不透明であり、経営判断が難しい。

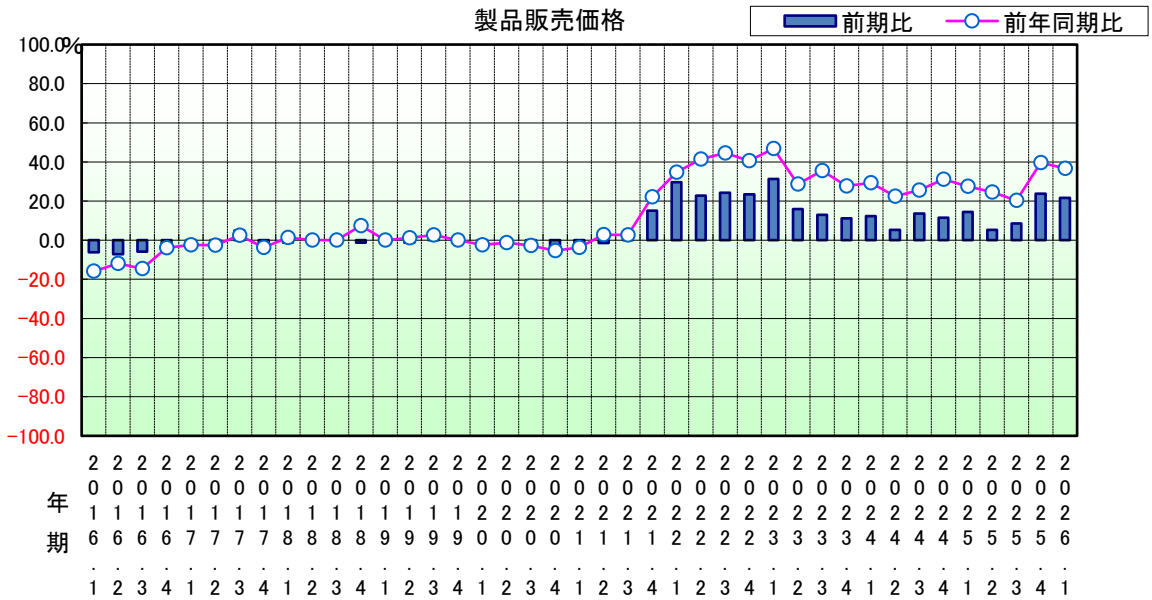
- トランプの影響がでかすぎる。
- AI の進化が早すぎて追いつかない。
- ランサムウェアの対策についてもどこまでやるべきか不透明。
  市と企業タッグを組み補助金を頂きながら最新の防御体系構築できればと思います。
- 今後ナフサ由来の資材品の品薄、価格高騰が懸念される。
  中東情勢の影響なのか取引先からの注文が６月から急にストップした物がある。
- 仕入れが値上がりし、販売価格もそれに応じて値上げをしても、
  価格競争で負けないよう良い品質のものを提供しなくてはいけないので、
  利益が少しずつ圧縮されてしまうので、最低でも現状維持以上の売り上げを稼がないといけないので、情報収集をベースに顧客に働きかけをし、製品の健康診断でサービスや製品の更新へ繋げていければと考えております。
  情報収集力、営業力が課題である。
- 色々な問題（資材・原料不足他）で先々の見通しが立たないこと。
  工作機械に使用する潤滑油が入ってこない。

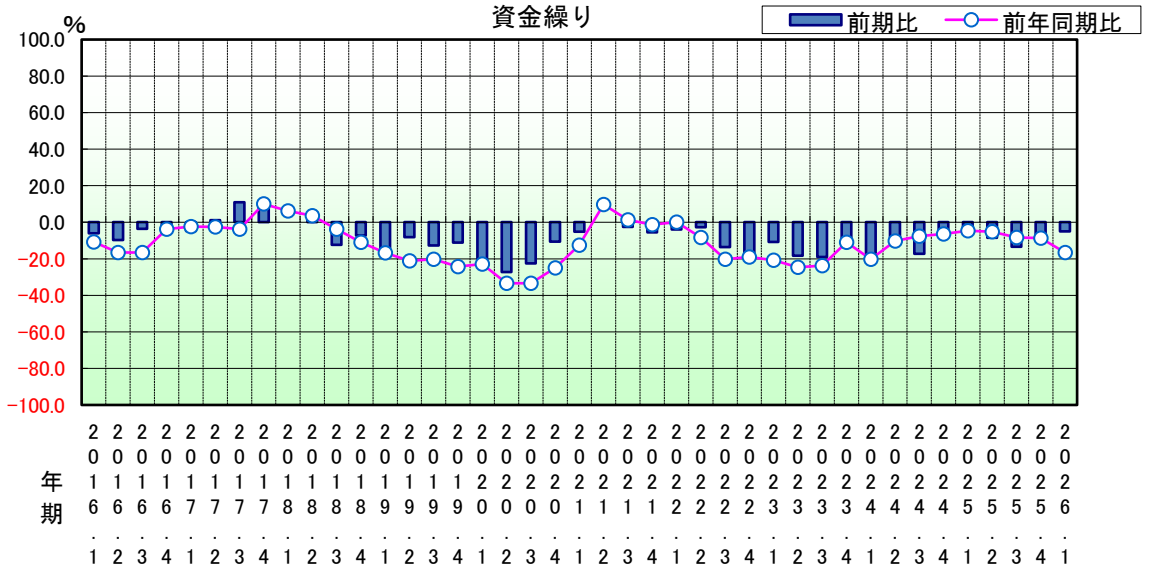

受注引き合い
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期

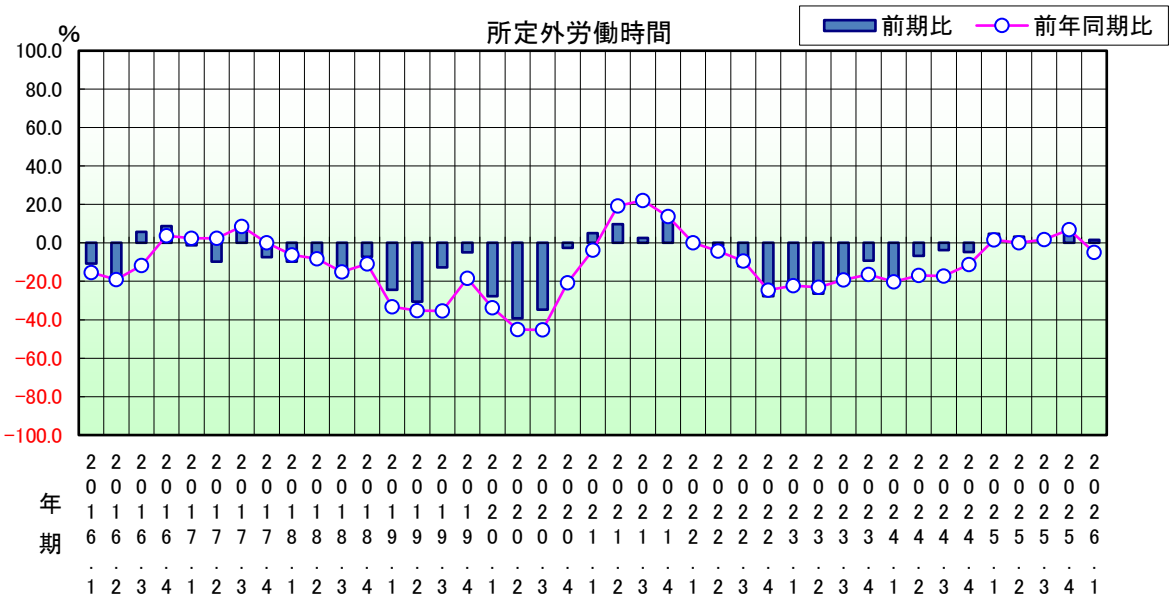

生産量
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期

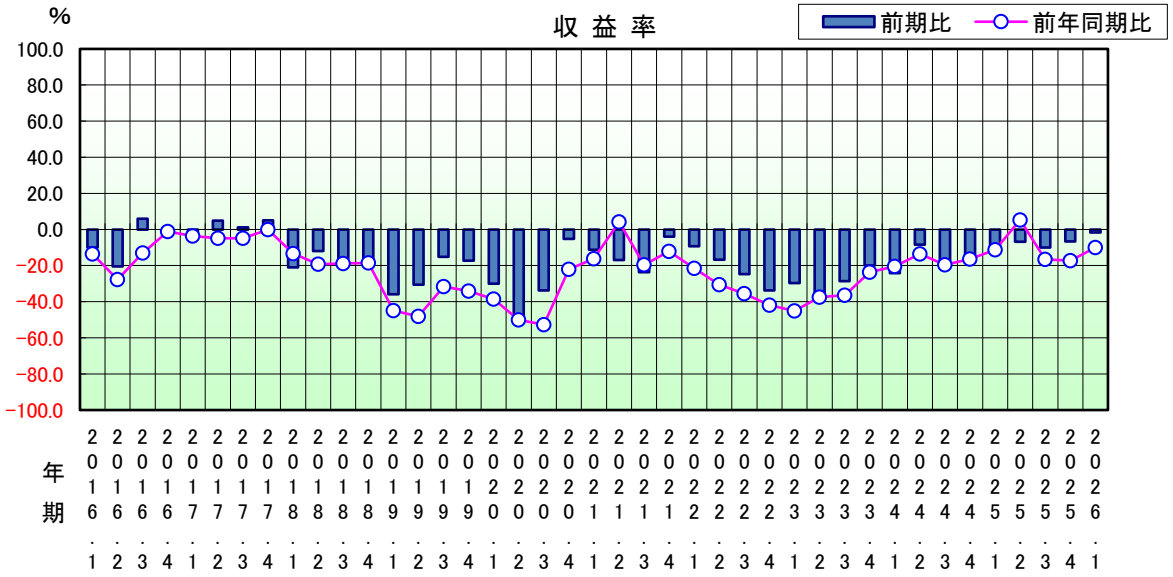

自社業況判断
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期

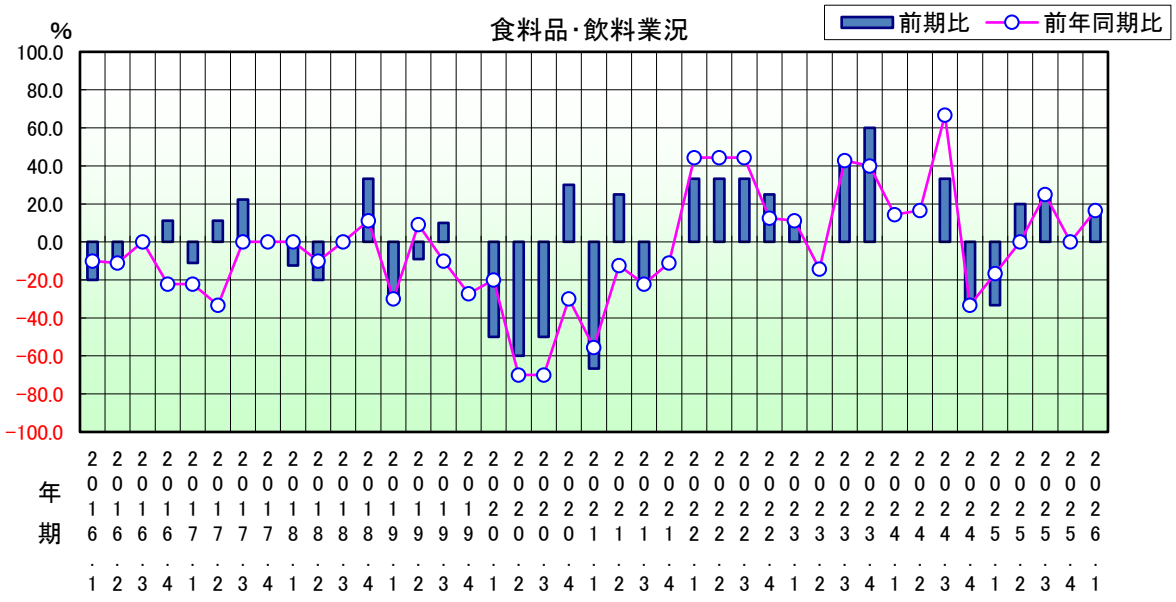

原材料･仕入品単価
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期

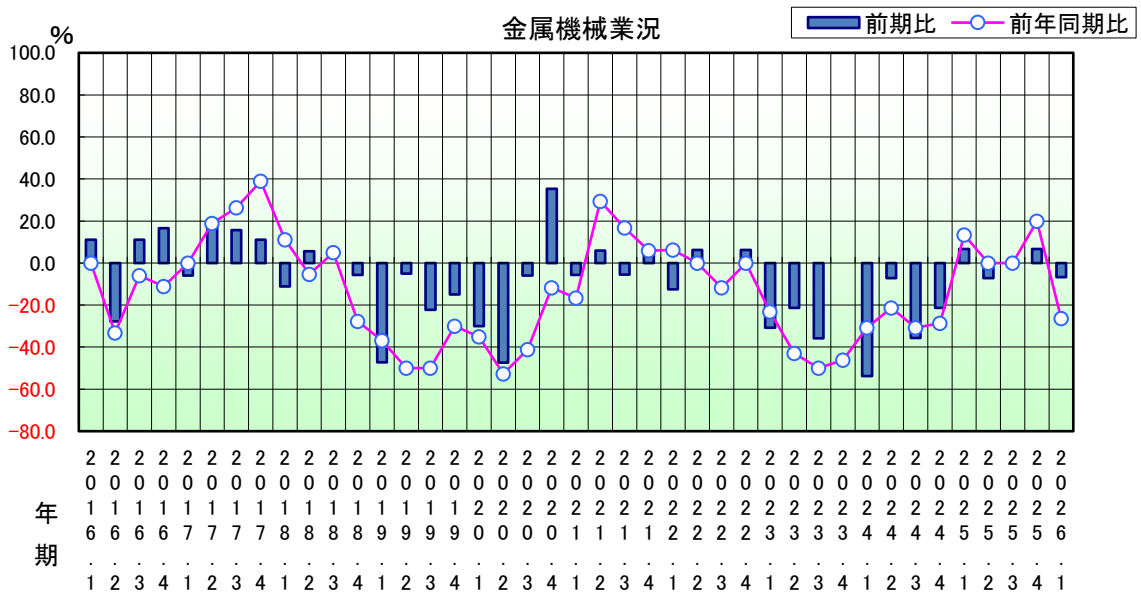

製品販売価格
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期

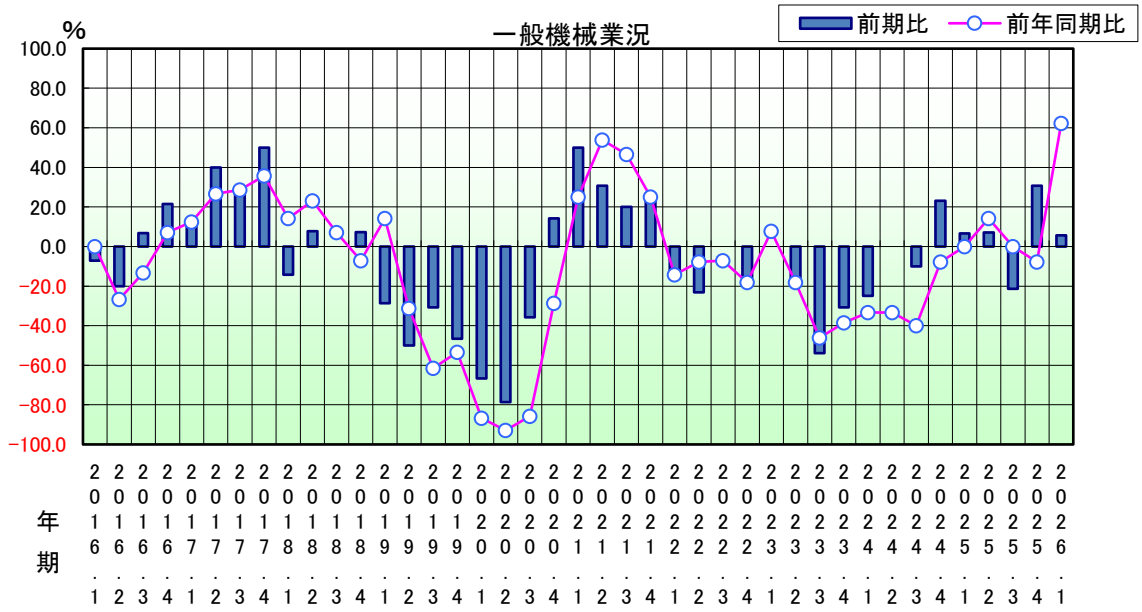

資金繰り
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期

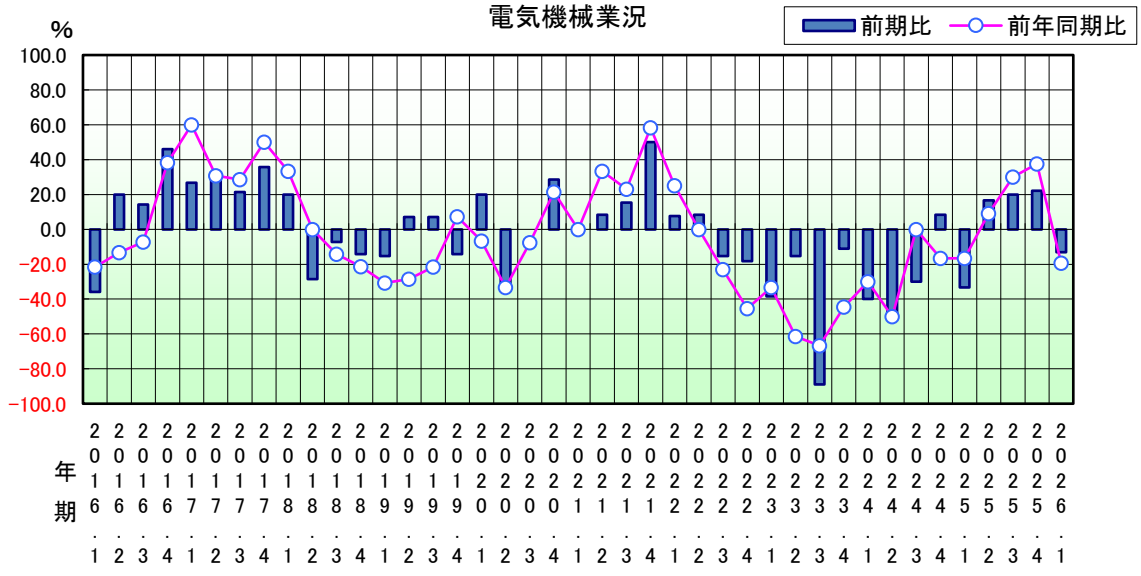

所定外労働時間
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期


収 益 率
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期


食料品･飲料業況
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期


金属機械業況
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
年期


一般機械業況
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期


電気機械業況
前期比
前年同期比
%
100.0
80.0
60.0
40.0
20.0
0.0
-20.0
-40.0
-60.0
-80.0
-100.0
年期